

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

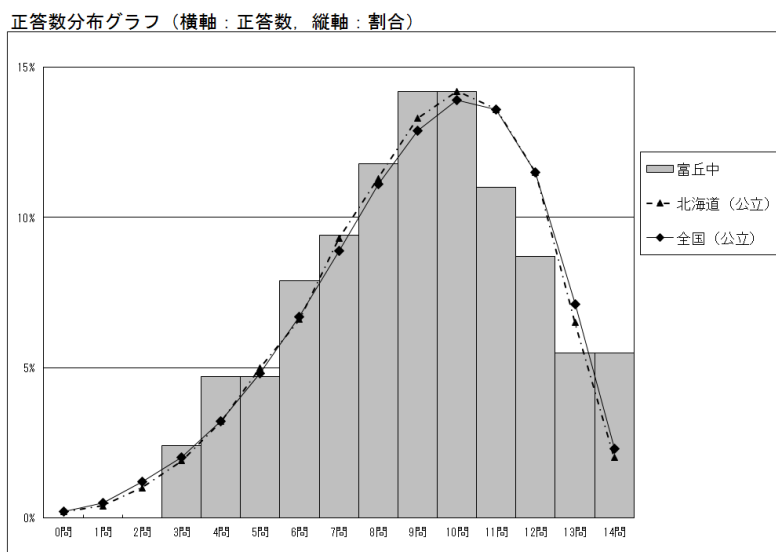
さて、本年5月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、生徒の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

1 教科に関する調査結果

国語

全国の平均正答率と比較して「同様」の結果でした。

①正答数の分布

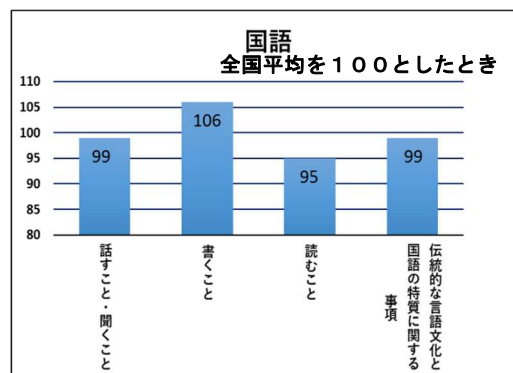


全道・全国と「同様」の分布を示しています。正答数の多い層の割合はやや低いが、正答数の少ない割合の層も低いことから、正答率が全道・全国と同様になったと考えられます。

②領域別の結果

【話すこと・聞くこと】

この領域の問題は3問あり、選択式の2問の正答率は全国とほぼ同様でしたが、記述式の「話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える問題」の正答率は全国より2ポイントほど低くなりました。話題や展開を捉えながら話し合うためには、何についてどのような目的で話し合っているかといった、目指している到達点を常に意識することが大切です。



【書くこと】

この領域の問題は3問あり、選択式の1問と記述式の2問とも、全国の前正答率より高くなりました。特に「伝えたい事柄を相手に効果的に伝えるように書く問題」の正答率は、全国より7ポイントほど高くなりました。

【読むこと】

この領域の問題は4問あり、選択式の1問、短答式の1問、記述式の1問の正答率は、全国と同様でしたが、「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する問題」の正答率は、全国よりも7ポイントほど低くなりました。文学的な文章を読む際には、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることが大切です。その際、目的に応じて、細部の描写にも着目しながら物事の様子や場面、行動や心情などの変化を丁寧に捉えることも大切です。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

この領域の問題は4問あり、短答式の3問と選択式の1問の正答率とも、全国よりやや低くなりました。「文脈に即して漢字を読む力」や「事象や行為などを表す語句についての理解」が求められます。

【正答数が低かった問題の例】

3 四 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもつ問題です。文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「解釈」の学習過程を通して、理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠を知ったりすることが大切です。また、自分が文章をどのように捉えて解釈したのかを振り返ることで、自分の考えを確かなものすることも大切です。

3 次は、夏目漱石の作品「吾輩は猫である」の本のカバーに書かれている「紹介」と、「文章の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介】

中学教師の吾沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽なもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



【文章の一部】

「ここまでのあらすじ」 吾沙弥先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶晶で黒猫の「黒」と出会う。「黒」は大きな体格で、車屋（人力車を引く人）に飼われている乱暴猫である。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶晶の中で寝ころびながら、いろいろな雑談をしていると、彼はいつもの自慢話をさも新しそくにくりかえしたあとで、吾輩に向かって「下のごとく質問した。」

「おめえはいままでで鼠を何匹きとったことがある。」

智識は黒よりもよほど発達しているつもりだが、腕力と勇氣にいたってはとうい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事實は事実で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとうとうと思うって、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からびんとつばつばつしている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に突った。元來黒は自慢をするだけにとどまらず、彼が足らないところがあつて、彼の氣腹を感じたようにこのどをころ鳴らして諷刺して見れば、はなはだ御しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになってからすぐにこの呼吸をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弁護してますます形勢を悪くするの愚である、いつそのことに彼に自分の手柄話をしゃべらしてお茶をにこすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年が年であるから、だいぶんとつたろう」と、そそのかして見た。

果然彼は、増壁の穴所に啖罵して来た。

「たんとでもねえが、三、四十はとつたろう」とは、得意気なる彼の答であつた。彼はなほ語をつづけて、「鼠の百や二百は一人でも引く受けるが、いたちつてえやつは手に合わねえ。一度いたちに向かつて、ひどい目にあつた。」

「へえ、なるほど」と、あいつちをうつつ。

黒は大きな眼をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石炭の袋を持つて縁の下へはいこんだら、おめえ、大きな、うちの野郎がめんくらつて飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたちつてけども、なに、鼠のすこし大きいぐれえのものだ。こんちきしょうつて氣で追つかけて、とうとうどぶの中へ追いこんだと思ひねえ。」

「うまくやつたね」と喝采してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つ尻をこきやがった。くせえのくさくねえのつて、それからつてえものはいたちを見たと胸が悪くならあ。」

彼はここにいたつて、あたかも去年の臭氣を今なお感ずることく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々氣のどくな感じがする。ちつと景氣をつけてやろうと思つて、

「しかし鼠なら、君にいらまされては百年目だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにふとつて色つやがいいのだらう。」

黒のごきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反対の結果を呈出した。彼は啖罵として大息していう。

「考げえるとつたねえ、いくら様いで鼠をとつたつて——いつてえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえぜ。人のとつた鼠をみんな取りあげやがつて、交番へ持つてゆきあがる。交番じや、だれがとつたかわからねえから、そのたんびに五錢ずつくれるじやねえか。うちの亭主なんか、おれのおかけでもう一円五十錢くらいもつけていやがるくせに、ろくなもの食わせたこともありやしねえ。おい、人間でもあ体のいい泥棒だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらしい理屈はわかるとみえて、すこぶるおこつたようすで背中の毛を逆だてている。吾輩は少々氣味が悪くなったから、いかげんにその場をこまかして、うちへ帰つた。

このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になつて鼠以外のごちそうをあさつてあることもしなかつた。ごちそうを食うよりも寝ていたほうが氣楽でいい。

（夏目漱石「吾輩は猫である」(上)による）

四 【紹介】に「様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【文章の一部】から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。


条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。


【正答数が高かった問題の例】


- 1 二 質問の意図を捉える問題です。報告などを聞く際には、話の内容を理解するために、必要に応じて重要な情報を書き留めたり、分からないことや知りたいこと、確かめたいことなどを話し手に尋ねたりすることが大切です。


- 二 【話し合いの一部】における青空中学校の山下さんの発言⑤について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 石川さんの発言の中で納得できなかったことについて、発言の根拠を明らかにするために質問をしている。
 - 2 石川さんの発言の中で理解できなかったことについて、発言の意図を確かめるために質問をしている。
 - 3 石川さんの発言の中で関心をもったことについて、さらに詳しく知るために質問をしている。
 - 4 石川さんの発言の中で共感したことについて、共通点を明確にするために質問をしている。


【話し合いの一部】


①  各校の取り組みについて、質疑応答に入ります。今日は、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために、他校に聞きたいことはありませんか。

②  第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが、その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。

③  第一中学校では、清掃場所を細かく分け、担当する場所を自分たちで決めることによって、一人一人が責任をもって活動するようになりました。また、本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが、そのための事前打ち合わせに、昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果、地域の方と一緒協力して取り組むことができるようになりました。

④  一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また、地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも、活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん、よろしいですか。

⑤  はい。ありがとうございます。青空中学校では、生徒だけで清掃活動を行っていますが、今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで、もう少し質問したいことがあります。第一中学校では、地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを、具体的に教えてくださいませんか。

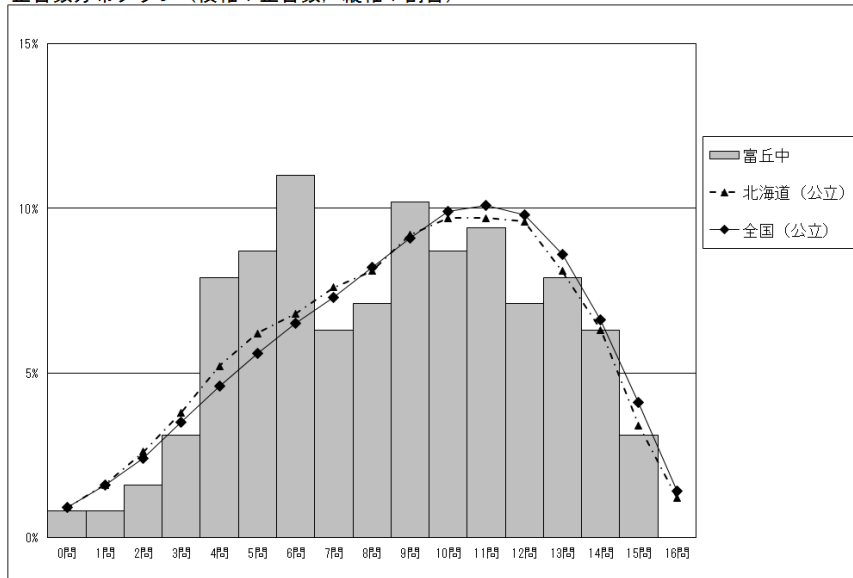
⑥  西中学校でも、地域の方との合同の清掃活動を考えたいと思います。また、実施回数も見直そうと思うのですが、回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを、青空中学校に質問したいです。

数学

全国の平均正答率と比較して「やや低い」の結果でした。

①正答数の分布

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



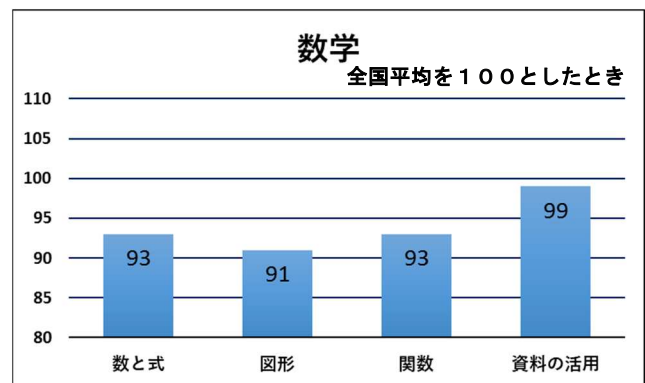
全道・全国より「やや低い」分布を示しています。正答数が4問から6問の層の割合が多いことが、全道・全国との正答率の差になったと考えられます。

②領域別の結果

【数と式】

この領域の問題は5問あり、「数の性質について成り立つ事柄の特徴を捉え、それを数学的に説明する問題」の正答率は、全国と同様でしたが、短答式の3問と記述式の1問の正答率は全国よりも5ポイント前後低くなりました。

特に「具体的な場面を一元一次方程式で表す問題」の正答率が低くなっています。具体的な問題を方程式を活用して解決する際に、問題の中にある数量やその関係を捉え、等しい数量関係に着目して方程式をつくり、それを解き、求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求めるといった一連の活動を繰り返していくことが大切です。



【図形】

この領域の問題は4問あり、「ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現する問題」の正答率は、全国と同様でしたが、他の3問の正答率は全国よりも5ポイント前後低くなりました。

特に「扇形を円の一部として捉え、中心角の大きさによって伴って変わる数量に着目し、その関係を見いだす問題」の正答率は全国よりも9ポイント低くなっている。図形の性質を考察する場面では、事象の特徴を的確に捉えることや、辺や弧の長さや面積の関係について理解していること、それらの関係を総合的に捉えることが大切です。

【関数】

この領域の問題は3問あり、短答式の2問と記述式の1問の正答率は全国よりも5ポイント前後低くなりました。特に「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題」の正答率が低くなっています。具体的な場面において、事象を単純化して、日常生活における問題を数学の問題として捉え、数学を活用して解決していくことが大切です。

【資料の活用】

この領域の問題は4問あり、「与えられたデータから中央値を求める問題」の正答率は全国よりも約10ポイント高くなりました。一方、「相対度数の必要性和意味の理解の問題」の正答率は全国よりも約8ポイント低くなっています。大きさの異なる二つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較するために、相対度数が必要であることを理解していることが大切です。

【正答数が低かった問題の例】

⑧ (3) データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題です。データの分布の様子を捉える場面では、データの傾向を的確に捉えて判断できることが大切です。その上で、見いだした分布の特徴から結論をいうためにふさわしい根拠となるものを取り上げ、判断したこととその理由について説明するような学習が大切です。

⑧ 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

調べたこと

日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/秒)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.4	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

○日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

(2) 桃花さんは、14ページの気温差のヒストグラムを見て、6℃以上9℃未満の階級と12℃以上15℃未満の階級の度数が多く、山が2つあるように見えることが気になりました。13ページの調べたことの見直ししたところ、日照時間が長い日は、気温差が大きい傾向にあるのではないかと考えました。そこで、日照時間が6時間未満の日と6時間以上の日で分けてまとめた気温差について、それぞれの階級の相対度数を求め、度数分布表に表しました。

気温差の度数分布表

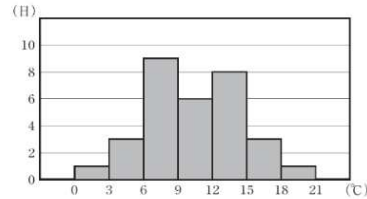
気温差(℃)	6時間未満		6時間以上	
	度数(日)	相対度数	度数(日)	相対度数
以上 未満				
0 ~ 3	1	0.05	0	0.00
3 ~ 6	3	0.16	0	0.00
6 ~ 9	9	0.47	0	0.00
9 ~ 12	4	0.21	2	0.17
12 ~ 15	2	0.11	6	0.50
15 ~ 18	0	0.00	3	0.25
18 ~ 21	0	0.00	1	0.08
合計	19	1.00	12	1.00

上の気温差の度数分布表のように、2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いるのは、次のページのような考えが使われているからです。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 桃花さんは、前ページの調べたことの見直ししたところ、日照時間が長い日は、気温差が大きい傾向にあるのではないかと考えました。そこで、日照時間が6時間未満の日と6時間以上の日で分けてまとめた気温差について、それぞれの階級の相対度数を求め、度数分布表に表しました。

気温差のヒストグラム



気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を求めなさい。

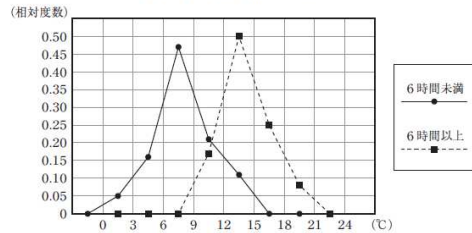
2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いるのは、日照時間が「6時間未満」と「6時間以上」の が違うからです。

上の に当てはまる言葉として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 日照時間
- イ 気温差
- ウ 階級ごとの度数
- エ 度数の合計

(3) 桃花さんは、前ページの気温差の度数分布表をもとに、横軸を気温差、縦軸を相対度数として度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。

気温差の度数分布多角形



気温差の度数分布多角形から、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、気温差の度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

【正答数が高かった問題の例】

⑤ 与えられたデータから中央値を求める問題です。データに基づいて不確定な事象を考察する場面において、数・式、図、表、グラフなどを活用して、数学的に処理することが大切です。

⑤ 下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43	46	46	52	53	55	56	56	56	57
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

2 課題と今後の取り組み

【国語】

- 豊富な語彙力が、すべての力の背景・基礎となります。漢字の学習に加えて慣用句、四字熟語など、語彙の習得に力を入れ、いっそうの定着をはかります。
- 授業の中で文章の読み取りや、書くことが苦手な生徒にも取り組みやすい課題を設定し、書く機会を設けることで、読むことや書くことの基礎的な力が着実に身につくように指導に取り組みます。また、問題文の読み取り方を学習し、体得することにも取り組みます。
- 話し合いの場を多く設けることで、聞き手の考えを整理したり確認したりすることに慣れる生徒が多くなると考えます。話す・聞く力のみならず書く力の向上につながると考えられ、いっそうの充実を図ります。
- 無解答の低さからも、課題に根気強く取り組もうとする姿勢が身についています。生徒の一生懸命に学習に取り組もうとする姿勢を大切に、これまでの指導を継続します。

【数学】

- 整数の加法と減法の計算などは、全体としては概ねできています。今後も全ての生徒の計算力の向上のために、基礎的な問題を繰り返し取り組む機会を設けます。
- 与えられた表やグラフ、データから、必要な情報を読み取ることは、全体としてよくできています。今後も授業において技能の定着に取り組んでいきます。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が残ると思われれます。パターン化されていないものを説明できるようにするために、時間をかけて数学的根拠に基づき考えることと、相手に伝わるような表現の仕方を授業でも進めていくようにします。
- 全道、全国に比べて無解答率が低く、正解に結びつかなくても根気強く解答しようとする姿勢が見られました。今後は、これまでの指導を継続しつつ、生徒の一生懸命に学習に取り組もうとする気持ちを大切に、「できた」と実感できるような指導に努めます。

3 児童生徒質問紙の結果

【生活習慣】

- ほぼ毎日、同じ時間に起床している生徒が多いものの、就寝時間が決まっていない生徒が見られます。活気ある前向きな生活を送るためには、家庭での規則正しい生活リズムの確立がのぞまれます。
- 家庭でのゲーム利用の時間は、全国・全道に比べ、やや低めになっていましたが、携帯・スマホ・パソコンの使用時間などを含む使い方の約束をしていない生徒が多かったです。便利なアイテムとして、スマホやパソコンの重要性が高まっていますが、使用時間や使い方について、改めてご家庭で約束事などを決めてほしいです。

【学習習慣】

- 学校の授業以外の普段（月曜日から金曜日）、また、土曜日や日曜日など学校が休みの日の学習時間が、全国や全道の平均に比べて少なくなっています。学校での学習内容を定着させていくためにも、ある一定時間以上の家庭学習の時間は必要です。
- 自分で計画を立てて勉強している生徒の割合は、全国とほぼ同様で、前向きに学習に取り組もうとしている姿が見られます。これからは、目標をしっかりと定めることで、学習にむかう意欲を向上させ、家庭学習の充実にもつなげてほしいです。

【自己有用感・規範意識】

- 困っている人を支えたいと考えている生徒、そして、いじめは絶対に良くないと考えている生徒が多く、思いやりと優しい気持ちの強い生徒が多いです。
- 周囲の人たちの役に立った、喜んでもらったと感じた場面が少ない傾向があります。コロナ禍で人とのかわりが制限されている時期ですが、学級活動で生徒同士のかかわりを多くするとともに、地域の人々との交流や地域の行事への参加の機会を増やしていきたいです。

学校では今後も家庭や地域の皆様と協力し、生徒一人一人とよい形で関わりながら、生徒それぞれが夢や目標を実現できる学校づくりを目指して参ります。ご家庭でも、お子様の夢や目標について、親子で話す機会をさらに設けていただき、前向きに目標を持った中学校生活を送っていけるよう、いっそうの支えとなっていただければと思います。